

## R7年度1学期始業式「校長あいさつ」

皆さんおはようございます。午後から新入生を迎え、いよいよ令和7年度がスタートします。皆さんもいよいよ尼崎小田高等学校の最高学年、先輩学年となるわけです。期待と不安を抱えて入学してくる新入生を温かく迎えてあげてください。

さて、チャット GPT 等の生成 AI が登場して久しいですが、今やスマートフォンにもその機能が備わり、ますます私達の身近なものになっています。皆さんはもう活用していますか。ただ、大学ではレポート等の作成に生成 AI を使うことを禁止しているところも多いですし、日本企業の 72%が職場での使用を禁止しているというデータもあります。一方、生成 AI を活用することで、イノベーションや効率性が高められることも期待されています。

生成 AI を有効に活用し、レベルの高い業務を遂行したり、働き方改革等につながることは今後必要であると認識した上で、相対する思いもあります。生成 AI が間違いのない安全な道を示してくれるのはとても便利なのですが、それに全て頼ることは私たちにとって本当に有益なのかということです。そもそも偉大な発明や発見などというものは、誰も見向きもしないものを相手にし続けて、周囲から「無駄な研究」「変わり者」などと揶揄されながらも、その成果を積み上げた結果です。

AI が示してくれた道ではなく、結果的に失敗の道を選んで歩いて、最後まで失敗かも知れない。しかし、その道の途中で失敗した人の気持ちがわかるようになったり、回り道ばかりしているので AI が知らない道に詳しくなるのかも知れない。人間性やクリエイティブな知性、0 から 1 を創る知性を高めるためにも、「チャット GPT」などの生成 AI とは上手く付き合わないといけないと感じています。

さて、2年ほど前になりますが、Jaxa の宇宙飛行士候補に諏訪さんと米田さんが合格しました。米田さんは兵庫県で中高を過ごしたので、当時、神戸新聞等で大きく取り上げられていました。2027年に月面に人類が降り立ち持続的な活動を目指す「アルテミス計画3」に日本人2人の参加が決まっていますので、2人が宇宙飛行士に選ばれる可能性もあるということで大変楽しみです、ワクワクしてきます。

その Jaxa の試験内容は従来と変わり、性別不問、3回のプレゼンが課せられ、学歴も理系という縛りはなくなり不問となりました。国の科学技術・イノベーション創出基本計画の中では、文系や理系などと言う学びの分野の壁を打破した文理融合の環境で学ぶことが大切と示されています。本校では、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールに指定され、それを核として学校全体で「探究活動」に関する取組に力を入れています。本校での探究による学びの中で、現状を正しく把握し適切な課題を「みつける力」、変化に対応し、粘り強く課題解決を「すすめる力」、得られた知見や成果を多くの人々の理解と共感を得ながら社会に「ひろめる力」を、探究活動を通して身につけて欲しいと考えています。その過程では、リーダーシップや協調性、クリエイティブな知性、レジリエンス、自己肯定感などの非認知能力も育てて欲しいと期待しています。

令和7年度も「在りたい自分になる」ために、日々の学習活動、部活動、様々な行事などの教育活動に邁進してください。そして、VUCA時代と言われ、予想もしない激しい変化が短いスパンで起きるこの時代に、日本のそして世界の未来を切り拓いて行くんだという気概が持てるよう、その礎となる力をつける一年になることを期待して1学期始業式の講話とします。